

科目名	教育のユニバーサルデザイン特論	担当教員	阿部 利彦
科目属性	専門科目	単位数	2単位(面接0.5単位)
<p>【授業の目的・ねらい】</p> <p>教育のユニバーサルデザインとは子どもたちにとって分かりやすく、学びやすく配慮された教育のデザインである。そして、さまざまな学びや行動につまずきを持つ子が、通常学級の日常において学習や活動に興味を持ち、新たに視野を広げられるような工夫である。通常学級にいるさまざまな困難や支援ニーズを持つ子どもをも支える授業づくり、学級づくりの概念について検討するとともに、ユニバーサルデザインに関わる教育の動向に関して考察する。</p> <p>この授業の具体的な到達目標は、以下の3つである。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 教育のユニバーサルデザイン化について理解する 2 学級（人的・物理的環境）のアセスメントについて理解する 3 ユニバーサルデザインに関わる教育の動向を理解する 			
<p>【授業計画】</p> <p>全15回の授業計画は以下のとおりである。</p> <ol style="list-style-type: none"> 第1回 ユニバーサルデザインとは何か 第2回 子どもに対する「教えにくさ」の背景を学ぶ 第3回 教育のユニバーサルデザインとは 第4回 授業のユニバーサルデザインとは～ひきつける工夫からみる 第5回 授業のユニバーサルデザインとは～むすびつける工夫からみる 第6回 授業のユニバーサルデザインとは～方向づける工夫からみる 第7回 授業のユニバーサルデザインとは～そろえる工夫からみる 第8回 授業のユニバーサルデザインとは～わかった・できたと実感させる工夫からみる 第9回 教室環境のユニバーサルデザインとは～構造化からみる 第10回 教室環境のユニバーサルデザインとは～ルールのある空間づくりからみる 第11回 ソーシャルスキル指導とは何か 第12回 障害者基本法からみたユニバーサルデザイン 第13回 合理的配慮からみたユニバーサルデザイン 第14回 インクルーシブ教育からみたユニバーサルデザイン 第15回 共感を高める学級づくりとは何か 			
<p>【評価方法】</p> <p>「スクーリング評価(事前課題を含む)」(30%)、「レポート評価」(30%)、「科目修得試験」(40%)の割合で総合して評価する。</p>			
<p>【教科書】</p> <p>阿部利彦．(2015)．通常学級のユニバーサルデザイン・プラン zero2, 東洋館出版．ISBN:978-4-491-03157-6</p> <p>柘植雅義．(2014)．ユニバーサルデザインの視点を活かした指導と学級づくり, 金子書房．ISBN:4760895418</p>			
<p>【参考図書】</p> <p>授業のユニバーサルデザイン研究会(編)．(2010)．授業のユニバーサルデザイン vol.1, 東洋館出版</p>			

版 . ISBN: 978-4491025391

日本授業 UD 学会 (編) . (2016). 授業のユニバーサルデザイン vol.8, 東洋館出

版 . ISBN:978-4491031835